

お・ま・じ・な・い

立ち別れ いなばの山の 峰におふる まつとし聞かば いま帰りこむ

中納言行平

[現代語訳]

私はあなたと別れて、因幡国(鳥取県)へ行かなければなりません。しかし、その地の稲葉山に生えている松のように、あなたが待っていてくださると聞いたなら、今すぐにでも帰ってきますよ。

行平が因幡国の国司として単身赴任するときの歌です。私が本格的にクイーン(競技かるた女性日本一)を目指したのは、中学校かるた部顧問の勧めにより、卒業式でこの歌を朗詠してからです。小野田高校に進学すると、登校前に竜王山登山道や万福寺の階段を走って足腰を鍛え、放課後には雀田駅で下車して竜王中学校に通い、夜遅くまで練習をしました。飼い猫がいなくなったとき、下の句「まつとし聞かば今帰りこむ」を紙に書いて戸口に貼ったら、猫が戻ってくるという言い伝えがあります。

この歌のチョイスに、「卒業してもかるたをやめないで戻って来て欲しい。待っているよ!」という恩師の願いが込められ、私は猫のようにおまじないにかかってしまったのだと気づいたのは、17才から8年間クイーン位を保持し、恩師が亡くなられてからのことでした。

全日本かるた協会 永世クイーン 久保久美子